

## 使用上の注意

倒したり落としたりしないでください。

本機に強いショックをあたえないでください。また、故意にゆらしたり振動をあたえないでください。故障の原因になります。

マグネット部分に汚れやゴミが付着した場合、測定誤差の原因になるので綺麗に清掃してください。

## 注意■

保管場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと故障の原因となります。

- ・熱、暖房器具(ストーブ、ヒーター等)の近く。
- ・油煙や湿気のある調理台、加湿器等のほこりや湿気が多い場所の近く。
- ・直射日光の当たる場所。

## 【使用方法】

使用前にキャンバーカスターゲージのCASTER (カスター) の0調整を行ってください。

垂直な壁又は柱にゲージ本体のマグネット部分を押し当てます。ゲージの水準器の気泡(A)が中心位置に読取れるように調整してください。

中心の位置の状態ですげージ本体中央(B)のダイヤルを回し、(C)の気泡の中心が0° になるように調整してください。

以上の準備ができたなら車両に取り付け測定してください。



※測定する場合、車両を水平の取れた定盤に乗せ、各車両の修理書に従い測定作業を行ってください。

## 【測定の基本方法】

タイヤの空気圧を調整した後、自動車を水平にし、ホイールを直進状態にしてブレーキをかけた状態で固定します。

左前輪の測定の場合

左前輪のハブにゲージを取り付け、ゲージの水準器の気泡(A)が中心位置に読取れるように調整してから測定を行ってください。

キャンバーの気泡の中心と目盛りの重なる数値を読取ります。

左前輪のカスター測定の場合

フロント・ホイールを左に20° 静かに回します。(必ず外側から回す)

(20° の目安としてゲージ本体(D)の傾斜部分が車体と水平になる位置が約20° になります。)

その位置でCASTER (カスター) の0調整を行ってください。

気泡(C)が0° の中心位置に読取れるように調整ネジ(B)を左右に回して調整してください。

調整後、フロント・ホイールを直進位置に戻し、右(内側)に20° 回したときのカスターゲージ気泡の中心目盛りを読み取ります。

(20° の目安としてゲージ本体(D)の傾斜部分が車体と水平になる位置が約20° になります。)

右前輪は上記と逆方向に回して測定してください。